

使用教科書：光村図書

使用副教材：美術資料・東京の美術（秀学社）

教科の学習目標：
 ・対象を捉える造形的な視点の理解と意図に応じて創造的に表すことができる。
 ・自然の造形や作品の良さ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し発想したり、見方や感じ方を深める。
 ・主体的に美術活動に取り組み、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を想像する態度や美術文化を鑑賞する態度を養う。

<学習内容>

学期	学習単元	学習内容
1	作家鑑賞：ゴッホ（鑑賞） 木彫時計 デザイン【ICT】・切断・磨き・彫刻 仏像の特徴と見分け方（鑑賞） 寺社建築の視覚的効果（鑑賞）	<ul style="list-style-type: none"> ・DVDを視聴しゴッホの独自表現「渦」への理解を深める。 ・目的（どこに・誰に・何のため）を考えてタブレットを発想の手立てとしてデザインを考える。 ・電動ノコギリで外形を切断し、切断面を磨く。 ・形を彫刻刀で浮き彫りする。（かまぼこ彫り・菱合い彫りなど工夫する） ・仏像の4種（如来・菩薩・明王・天部）の特徴と見分け方を学ぶ。 ・寺社建築に見られる視覚的工夫について学ぶ。
2	木彫時計<続き> 着色・ニス仕上げ・組み立て 美術史：ピカソ 陶板スクラッチ 試作	<ul style="list-style-type: none"> ・彫りを終え、アクリル絵具やカラーワックスで着色する。 ・水性ニスで仕上げる。・針を付け組み立てる。（市展候補作品） ・ピカソの「青青の時代」「バラ色の時代」「キュビズム」「新古典主義の時代」「ゲルニカ以降」について学び、作風の変化を感じ取る。 ・色画用紙に白鉛筆で動物の毛の長さ方向を再現するように写実的に試作する。
3	陶板スクラッチ 本制作 動物の写真選び ニードル描画 作家鑑賞：ミレー 美について	<ul style="list-style-type: none"> ・毛の長さ方向がよく分かる動物の写真を探す。 ・色画用紙に白鉛筆で描き試作する。 ・陶板に写し、写実的にニードル描画を進める。 ・DVDを視聴しミレーの特徴と独自性について理解を深める。 ・一般的な美と自分にとっての美、身の回りに感じる美、美とはかわらないものか、について考察する。

評価の観点・方法 以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動を評価します。

観点(全体に対する割合)	観点の趣旨	評価資料
観点1 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩などが感情にもたらす効果を理解している。 ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 ・制作の手順を考え見通しをもって表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・作品（木彫時計・陶板スクラッチ試作・本制作） ・定期テスト
観点2 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・対象を見つめ感じ取った美しさや想像したことを基に主題を生み出し、全体と部分などの関係を考え、構成を工夫し、表現する構想を練っている。 ・伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容から主題を生み出し、調和のとれた美しさを考え構想を練っている。 ・よさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と工夫を考え、見方や感じ方を広げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・作品（木彫時計・陶板スクラッチ試作・本制作） ・定期テスト
観点3 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現活動に取り組もうとしている。 ・目的や機能を考えた表現活動に取り組もうとしている。 ・作品や美術文化などの鑑賞活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの取り組み ・作品への取り組み ・授業の様子